

## 玉名女子高等学校 学校評価第三者評価

～平成27年度自己評価及び関係者評価結果を考察して～

平成28年9月

### ・玉名女子高等学校の特色

玉名女子高等学校は、1925年（大正14年）新穂登免により、高い知性と豊かな教養を備え持つ女性の育成に取り組みたいという志のもとに設立され、2024年に創立100年目を迎える。本学は創立以来、「質実剛健」「良妻賢母」「温雅貞淑」の綱領のもとに、社会で活躍する多くの女性を輩出している。

現在、普通科を併せ持つ専門高校として、普通・食物・ビジネス・看護の4学科及び看護専攻科を設置しており、当校専門学科での学びは、女子のなりたい職業ランキングの上位にランクインする「看護師」「保育士」「パティシエ」「客室乗務員」「事務職員」などの職業にもしっかりと対応することができる。

この学校の評価ポイントは、基本的な生活習慣の確立など、生徒の生きる力を伸ばすために全人格的な発達を目指した教育を行っているところである。女子の教育に大切なことがらに着目した学校生活を送ることができ、保護者からも「入学させて良かった」と高く評価されている。

学校評価の中の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の数値を見てみると、

子どもを入学させて良かったと思う 90.3%

子どもは楽しく意欲的に学校へ通学している 94.9%

今後も維持するとともに、さらに満足度を高めていくべきである。

27年度の退学者は0名、保健室当校生徒0名は素晴らしい。先生方が、子どもの悩みに寄り添い、関わることの評価は、保護者・生徒ともに70%を切っているが、多様な生徒たち多様な対応を求められる時代であるからこそその数値課題だと考えられる。この満足度が90%を越えるよう先生方の努力は求められる。

### ・施設設備について

学校から、27年度で耐震化工事を終了している旨説明があったが、校内の設備等については、安心安全な環境作りに努めることができている。奇しくも起きてしまった熊本地震に対して、大きな被害が出ずに済んだのも、耐震化の促進が進められていた成果であることは評価できる。

図書室と家庭科室の入れ替えや、新教室の設置など機能をさらに充実させることが計画されている。入れ替え後の図書室は、放課後の自

己学習としても進路情報取得のための部屋としても、力を発揮することであろう。

受験生を集めていくためには、学習内容はもちろんのこと、この環境整備は不可欠である。実際に入学する生徒のためにも、頑張ってもらいたい。

#### ・授業力向上に向けて

生徒の学力向上のためには、質の高い教育が準備されるべきであろう。言うまでもなく、授業の充実が必要である。先生方が自己研鑽に努められ、指導力を高め、部活動や学校行事の魅力に頼らない授業の魅力づくり、玉名女子高等学校でしか受けられないような授業を目指してほしい。どのような生徒を育てたいのか、成長モデルをしっかりと想定し教育に望んでほしい。

#### ・部活動、学校行事について

全国大会に県代表、九州代表として出場するような盛んな部活動を有する学校であり、部活動の推進と技術向上のために積極的に取り組んでいることは、9割以上の保護者が実感している。学校行事に積極的に参加をしていると回答する生徒が87%、それを見守る保護者の評価も97%と高い。3つの専門学科を持つ高校らしく、特色ある学校行事を組み立てていることと思う。可能であれば、評価者も学校行事に参加してみたいと半数以上が感じた次第である。

身だしなみをきれいに整え、また、色々と気遣いができる所作の美しい女性を「女子校らしさ」から期待します。最後に、「良妻賢母」を基調としつつ、女性の多様なあり方を励ます御校の教育姿勢を今後とも堅持してください。